

会派行政視察報告書

会派行政視察における調査結果について、下記のとおり報告いたします。

平成30年3月16日

光市議会議長 木村信秀様

光市議会会派「新風会」

代表 河村龍男

議員 岸本隆雄

記

- 1 視察年月日 平成30年2月6日～2月8日（2泊3日）
- 2 調査市等 沖縄県嘉手納町、うるま市、南風原町
- 3 視察計画表 別添のとおり

「新風会」行政視察 報告書

平成 30 年 2 月 6 日 (火)

沖縄県 嘉手納町 (かでなちょう)

*人材育成事業の取り組みについて。

下記 6 項目の説明を簡単にされ、そのあと特に力を入れておられる三つの継続事業の説明を受けました。

1. 未来を担う人を育てる学校教育の推進。2. 人が輝く生涯学習のまちづくりの推進。3. 心と体を育むスポーツ・レクリエーションの進行。4. 未来への橋渡しとなる人材の育成・国内外交流の推進。5. 平和の心を育み・伝える平和行政の推進。6. 地域文化の継承。発展。活用。

1. 「嘉手納町・大山町児童交流事業」

この事業のきっかけは、鳥取県で国体があった時、大山町がソフトボールの会場で、その時に大変お世話になったことで、交流が始まり、姉妹都市関係を結び、今もって、盛んに交流を続けているそうです。

事業の目的は、嘉手納町の児童が鳥取県大山町の児童と互いの家庭に民泊することで異なる風土・生活習慣を学び、交流を通じて相互理解を深めることにより 郷土に対する関心を高め、嘉手納町の次代を担う人材育成を図ることを目的に。

嘉手納町の児童は、1 月に大山町へ。大山町の児童は、8 月に嘉手納町へ、と、研修内容はいろいろで、3 泊 4 日を楽しむ交流です。

それぞれの子供たちの感想は、たいへん楽しく思い出に残る経験をさせてもらったと、いっています。20 数年間、民泊をした人との交流が今も続いているそうです。

心暖まる交流で、本市も取組みを検討してみてもいいのではないのでしょうか。

2. 「嘉手納町立 外語塾」

設立は、平成 10 年。趣旨は、国際化時代の今日、新たな産業の創出として頭脳立地型まちづくりを目指すにあたって、優れた国際感覚や語学力、コンピューターなどに関する高度な技術や幅広い知識を有する人材育成が求められています。そこで本町では、21 世紀を展望化し国際化、高度情報化時代に対応できる人材の育成、そして若者が夢と希望を持てるちいきづくりのため、がいこくごやコンピューター技術の習得の場として学校教育法にとらわれない町運営の塾を設立する。

修学期間は2年間で、授業代などは全て免除です。一学年15名程度の少人数クラスです。いろいろな資格が取得でき、大学進学や就職に役立つそうです。

この事業も本市に欲しい事業だと思いました。

3. 「嘉手納町ハワイ短期留学派遣事業」

目的は、嘉手納町の次代を担う中高校生をハワイに派遣することにより、その国の風土及び文化、歴史を学び、青少年の親睦交流を通じて相互理解を深め、国際性豊かな人材育成並びに将来国際社会に適応する能力と資質向上を図ることを目的にする。

派遣期間は、夏休みの約2週間、学校での語学授業です。派遣数は、7名。この事業も長年続いていることが素晴らしいと思いました。

以上3点の事業から、幅広い年齢層を通して、如何に人材育成が重要であるか、国際人として、街のリーダーとして活躍する人材をどう育てていくか嘉手納町の強い思いが感じ取れました。

所感

潤沢な基地予算のおかげと思われませんが、様々な人材育成への取組みが見受けられます。大きく取り組んでおられた3つの継続事業について、20年を超える大山町との交流事業、小学生の交流は大人になってまた新しい交流が生まれ、今後とも長く続けて行ってほしいと思わせていただきました。

2点目は、町立の外語塾、高校卒業後2年間の英語の取得、コンピューター技術の取得を目的にしており地域にどうすれば子供たちが残ってくれるのか、苦悩の跡がよく見受けられました。

3点目はハワイ短期留学派遣事業、どこでも取組んでいる留学制度ですが、永年続いていることが素晴らしい。基地負担の大きな町です。自然が残っているかと思いきや、その下には弾薬庫があるという本当の安らぎが求められる地域で、本当にお世話様だと思わせていただきました。



平成 30 年 2 月 7 日 (水)

沖縄県 うるま市

*うるま市の観光振興について。

うるま市は、沖縄県本島中部、東海岸に位置しています。南北に伸びる勝連半島と、海中道路で繋がる 8 つの離島が点在する市です。

視察目的は、光市の牛島を観光資源として活用する事が、できないか！よいアイデアがないか！見つけるために決定しました。

午前中は 8 つの島のうち 4 つの島を見学し、昼からは、うるま市役所で観光課職員との意見交換を致しました。

午前中の島めぐりから、ご説明いたします。まず、本島に一番近い「へんざ島」。この島は本島と全長 4.7km の海中道路で結ばれている周囲 7km の海人（うみんちよ）の島です。観光目玉は「海の駅」「海中道路」「ビーチ」「500メートルの護岸アート」。次に、「宮城島」。周囲 12km の高台の島です。目玉は「製塩観光工場」「サトウキビ畑」「ビーチ」。3島目は、「伊計島」周囲 7km の平坦な島です。目玉は「マリンスポーツ」「キャンプ」。最後の島は、「浜比か島」。周囲 7km の起伏に富んだ島です。目玉は「赤レンガと石垣の昔の家」「ビーチ」「マリンホテル」です。

昼からは、うるま市役所で「観光振興ビジョンの重要ポイント」の説明を受けました。

* 4 つの重点プロジェクト

1. 伝統のうるま (闘牛)
2. 食のうるま (にんじん・あまさん・もずく・やまいも・おくら)
3. 歴史のうるま (世界遺産勝連城跡)
4. 島のうるま (海中道路・ビーチ・レンタルサイクル)

* キャッチフレーズ

「行こうよ、うるま。うるまで、遊ぼう。」

1. レンタルサイクル (島の魅力をゆっくりと)
2. ヨガ体験 (海の上で・ビーチで)
3. 星空観察
4. 自然の岩でボルタリング
5. スタンドアップパドル
6. シーカヤック
7. ダイビング
8. シュノーケリング、

9. フィッシング
10. パラグライダー
11. お散歩カメラ撮影
12. 牛島肉（これは、私のアイデア）
13. 背黒イワシ料理（これは、私のアイデア）
14. クルージング（これは、私のアイデア）

うるま市は、H29年からH38年までを計画期間と定め、行政、民間の観光関連事業者、市民、各種団体が連携・協働して取り組んでいる。

具体的な数値目標も立て、本気度が伝わってきます。

牛島も「プロジェクトチーム」を作って本気で取り組めば、観光地になっていくと、思います。やりましょう！

所感

観光振興策について、離島を8つも抱え海中道路、橋で結ばれた街を午前中視察前に見学させていただきました。青い海の見学もさることながら、近年流行りの製塩事業への取組みが進んでいました。島には昔の墓や、自然がたくさん残っていました。これも将来の財産だと感じました。観光産業は大変難しいですが沖縄の残る道は他にはないので応援していきたいと思いました。



平成 30 年 2 月 8 日 (木)

沖縄県南風原町 (はえばるちょう)

*開かれた議会の具体的な取り組みについて。

南風原町議会の構成は、定数 16 人。(男性 13 人・女性 3 人) 任期 H30.9 月 27 日まで。

開かれた議会の 6 つの取り組みについて。

1. 議会中継の強化！

インターネットによる議会中継を平成 25 年 12 月より開始。(生中継・録画放送)

2. 議員賛否の公表！

賛否が分かれた議案の賛否状況を議会だよりに掲載。

全議案の賛否を HP に公表。

3. 委員会の傍聴を原則公開。！

どの様に委員会を行っているのか、直接見たり、聞いたりすることができる。

4. 議会広報の強化！

議会だよりを通じて、町民が議会と町政に関心を持つよう、情報の公開に努めます。

5. 議会報告会の実施！

毎年、一回開催。報告会の持ち方を活発に議論し、開催場所を工夫する。

また、参加者がどうすれば増えるか課題としている。

第 1 回。H24 年 (小学校体育館) 87 名。第 2 回。H25 年 (小学校体育館)

70 名。第 3 回。H26 年 (公民館) 46 名。第 4 回。H27 年 (公民館) 27 名。

第 5 回。H28 年 (公民館ホール) 33 名。第 6 回。H29 年 (町内大型商業施設) 27 名。

どうすれば参加者が増えるか、頭を悩ませている。

6. 傍聴者へ議案の写しを貸し出す！

以上 6 点の取り組みでした。

*議会基本条例は必要かについて

議会独自のルールを定め、各議員が役割を再認識し、実践することで、さらに行動力のある議会となるよう策定しました。

前文と 9 章 28 条の条文でできています。特別委員会の設置から 3 年をかけて計 45 回の委員会で策定したそうです。

まとめとして、南風泊の研修は、なんと議長が最初から最後まで親切丁寧に説明していただき感銘いたしました。最後には、河村議員と公民館事業や子どもサンホーム事業の話になっていき打ち解けた研修になりました。

印象に残ったことは、一般質問は、議長以外は全員が質問に立つそうです。

それと、素晴らしい議会だよりです。200回以上続き、年4回発行。A4サイズ、24ページ、各議員の一般質問の内容を1ページごと掲載されていることです。議会だより最優秀賞を2回も受賞されているそうです。

光市の議会だよりの誕生を願います。

所感

開かれた議会の具体的な取組みについて、議会中継、議会だより、委員会の傍聴等いろいろな取組みを聞かせていただきました。議会報告会については、学校・公民館・大型商業施設等、工夫を重ねていることが伺えました。市民との接点をどう捉えていくのか、個人的な取組みも必要ですがやはり自治会を中心に意見の集約が大切だと改めて感じさせていただきました。

